

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-143764

(P2013-143764A)

(43) 公開日 平成25年7月22日(2013.7.22)

(51) Int.Cl.

H04S 3/00 (2006.01)

F I

H04S 3/00

テーマコード (参考)

Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2012-31090 (P2012-31090)
 (22) 出願日 平成24年1月8日 (2012.1.8)

(71) 出願人 512038861
 中村 岳志
 東京都府中市晴見町1丁目5番1号303
 (72) 発明者 中村 岳志
 東京都府中市晴見町1丁目5番1号303

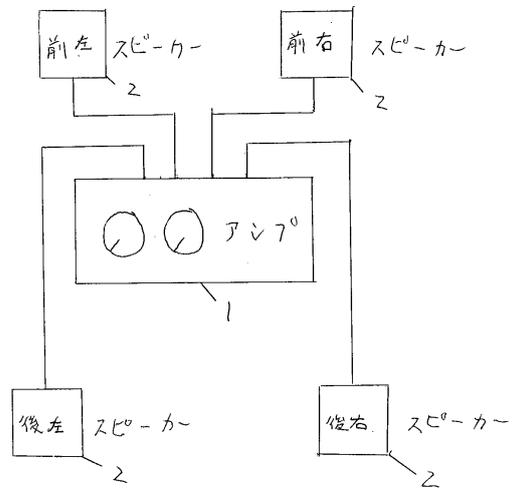
(54) 【発明の名称】 4系統出力アンプ

(57) 【要約】

【課題】立体的に音楽を楽しむために4系統アンプを提供する

【解決手段】4つの出力(前右、前左、後右、後左)を特徴とする

【選択図】図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音楽機器全般

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、音楽機器の4系統出力アンプに関するものである

【背景技術】

【0002】

従来、音楽機器は右、左の2系統出力アンプである。

10

【先行技術文献】

【0003】

【特許文献 1】

【非特許文献 1】

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

これは次のような欠点があった。

(イ) 3次元までの音だけしか表現できなかった。

本発明は、以上のような欠点をなくすためになされたものである。

20

【課題を解決するための手段】

【0005】

音楽の制作段階から見直さなければならない

本発明は、以上の構成よりなる4系統出力アンプである。

【発明の効果】

【0006】

(イ) より立体的な音楽が楽しめる。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図 1】本発明の見取り図である。

30

【図 2】ヘッドホンに関する見取り図である。

【発明を実施するための形態】

【0008】

以下、本発明を実施するための最良の形態について説明する。

制作時に4系統(前右、前左、後右、後左)に分け、(1)アンプを4系統に分ける。(2)スピーカーを4つ用意し、4系統で入力する。また、(3)ヘッドホンも片方に2つスピーカーを内蔵する。

本発明は、以上のような構造である。

これを使用するときは、アンプのバランスで調節する。

【符号の説明】

40

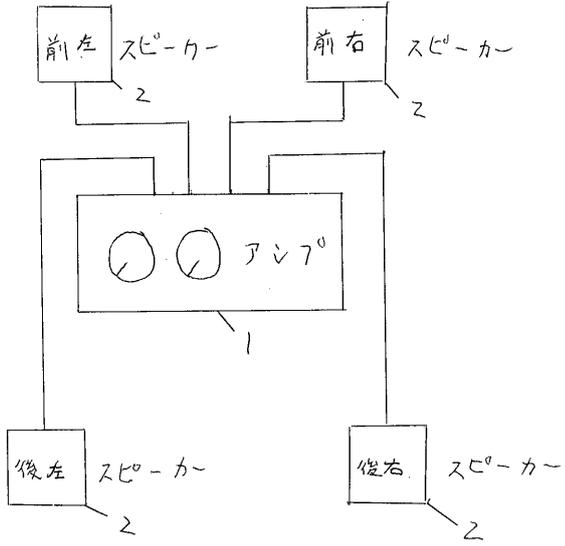
【0009】

1 アンプ

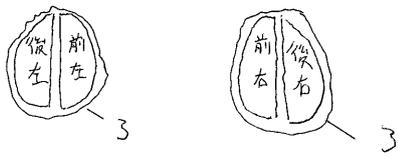
2 スピーカー

3 ヘッドホン

【図1】



【図2】



- 1. アンプ
- 2. スピーカー
- 3. ヘッドホン